

中央区

平成24年(2012年)10月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第6号

1 地域防災における災害図上訓練DIGの活用について

8月2日に開催された今年度第2回目の中央区まちづくり会議では、中央区市民部長から第1回目の会議について振り返りを行った後、(有)インタラクショナル研究所の安田 睦子 代表に「地域防災における災害図上訓練DIGの活用」と題し、DIGの手法とその効果を中心にご講演いただきました。(※DIGについては、下図「災害図上訓練【DIG】とは?」を参照してください。)

安田先生からは、100%自然災害の被害を無くすことはできないが、災害がもたらす被害、不安、恐怖を少しでも減らそうという考え方(「減災」の視点)が重要であるといったお話しや、災害が起きたときに避難が遅れる人には、「これくらいなら大丈夫」と思いこもうとする心理が強く働く場合があるので注意すべき、といった説明などがありました。



講師：(有)インタラクショナル研究所 安田 代表

災害図上訓練【DIG】とは?

DIG は、Disaster (災害)、Imagination (想像)、Game (ゲーム) の頭文字をとって名づけられた防災訓練の手法の一つで「ディグ」と読みます。訓練の流れは次のとおり。

大きな災害が発生したときを想定して、グループで各自の行動や意見を話し合う。

地図を囲んで避難場所や避難経路、危険箇所、防災資源などを考えて地図に記していく。

要援護者支援についても話し合いを重ねて、各班でまとめた意見を発表し、全体で共有する。

DIGのねらい(成果)

・各々の地域の災害に対する弱みや強みに気づくことができる。

・自助/共助への気づきや、主体的・具体的な防災活動へ展開していくことが期待できる。

・防災以外の地域課題(防犯、高齢者の見守り、子どもの安全など)へも応用できる考え方や活動へ広げていくことができる。

地域で実際にDIG訓練をやってみたいなど、地域防災に関するご相談は
中央区市民部総務企画課 地域安全担当まで (電話番号: 231-2400)

(裏面へ)

2 平成24年度の中央区防災訓練について

第2回会議で実施概要の説明が行われた「平成24年度中央区防災訓練」は、9月3日(月)に、初めて伏見小学校サブグラウンドを会場として、各町内会や消防団、札幌市赤十字奉仕団、中央区災害防止協力会、北海道警察(南警察署)、陸上自衛隊など、136団体(936人)の参加を得て実施されました。今年新たに、自衛隊のヘリコプターを使った負傷者搬送訓練や、地域の中学生による要援護者の避難支援訓練、中央区災害防止協力会による緊急輸送道路点検訓練などが実施されました。当日は強い日差しの照りつける中、昨年を上回る多くの方にご参加・ご協力いただき、無事、訓練を終了することができました。

中央区防災訓練 当日の様子



応急救護訓練



緊急輸送道路点検訓練



災害支援型自販機展示



消火バケツリレー



倒壊家屋からの救出訓練



負傷者搬送訓練



水防工法訓練(土のう作り)



要援護者避難支援訓練

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-231-2400 内線212 FAX011-261-2991